



Title	附属中学校における学問探究講座の実践
Author(s)	田中, 邦夫
Citation	教育実践総合センター紀要, 8, pp.241-251; 2009
Issue Date	2009-03-20
URL	http://hdl.handle.net/10069/25925
Right	

This document is downloaded at: 2019-09-23T07:36:36Z

附属中学校における学問探究講座の実践

田中 邦夫（長崎大学教育学部芸術表現講座）

1. はじめに

筆者は、平成19年度に1年間、附属中学校の1年生と3年生の音楽の授業に携わった。これまで県内の高等学校の音楽科教諭として39年間指導に当たってきたが、中学校の指導は初めてであった。そこで分かったのは、音楽の指導は中学と高校は変らないこと、生徒の家庭環境において、親と子供と一緒にクラシック音楽を聴くのが日常であったり、ピアノやヴァイオリンなどの楽器の経験があるなど、音楽的に恵まれた環境に育っている生徒は音楽を聴かせても、あるいは演奏させても感性が非常に豊かであることである。一方、このような環境に育っていない生徒の中には「私は音楽がたいへん好きだけれども、よく分からない」と言う生徒が多い。「私は音痴なので音楽はわからない」と一人で決めてしまっている生徒もいる。

しかし、本質的にはみんな音楽が好きである。中学生は精神面と体力面において成長の度合いが著しい時期であるから、この時期に教師の指導次第では如何にでもなる（好きにもなるし嫌いにもなる）と言える。そのような中、もっとも感受性の高い生徒に我々音楽教師は、音楽教育を通して、「豊かな感性」と「生きる力」を培うことで、「豊かな人間性」を育成して行く義務があると思った。

私は、附属中学で授業を1年間、「学問探究」を2年間指導する機会に恵まれ、その中で「鑑賞教育」を主に取り扱ってきた。授業実践を通して、生徒たちの実態を知った上で、初めて音楽教育のあるべき本当の姿が見えるということを確認し、考察するものである。

2. 自己の個性や生き方を探求する学習ステージ「自己探求」

(1) 目標

附属中学校では、中等教育期を「人間としての生き方を考え、自己の将来を見定める時期」と捉えており、その前期に当たる中学校段階では、個性の探求を十分に補償することが大切であると考えている。そこで、自己の個性や生き方を探求する教育活動の開発に取り組むこととしている。

(2) ねらい

生徒一人一人の可能性を引き出す多様な探究活動を設定することにより、様々な面から自己を見つめ、理解し、理想とする自己の実現に向けて意欲的に歩み続ける生徒を育成する。

(3) 実施要綱

- 1 授業時数は28時間（生徒オリエンテーション、振り返りを含め全6回）とし、Ⅱ期（9～12月）に実施する。
- 2 第2・3学年合同で実施する。
- 3 人文科学、社会科学、自然科学、文化芸術の4つの分野の講座をバランスよく開設する。
- 4 原則として、2時間連続の授業を週に1回実施する。
- 5 同時期に14講座以上を開設することとし、1講座当たりの平均人数を少なくする（1講座当たり平均30名）。
- 6 生徒の選択の機会をできるだけ多くするために、原則として4時間で完結する講座を設定する。また、同じ講座内容を最低2回は繰り返すこととし、同じ担当で6回とも違った内容とならないよう留意する。

(4) 内 容

講座の開設に当たっては、教科の枠にとらわれず、大学の授業科目にあるような専門性の高い内容の講座を開設し、将来に向けての夢が広がるようにする。また、より専門的な立場からの指導を可能とするために、原則として大学や研究機関、高等学校の先生方をゲストティーチャーとして招聘する。

平成20年度 「学問探究」 開設講座及び内容一覧

系	No.	講座名	授業者	回数	内容	ゲストティーチャー
文化芸術系講座	28	ウィーン音楽	津田	①②③ ④⑤⑥	毎年の元日、世界46ヵ国にテレビ中継され、オーストリア国内のみならず世界中の何百万という人々を感動させている「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」。そして世界三大歌劇場の一つ「ウィーン国立歌劇場」。世界的な名演奏を鑑賞し、皆さんを附属中の音楽室からウィーンの世界へと誘います。	田中邦夫先生（長崎大学教育学部）
	29	現代美術との出会いー長崎のIMAー	坂田	③④	現代美術っていったいどんな表現なのでしょう。この講座では、現在長崎で活躍している芸術家の方に、直接、最先端の美術についての話を聞き、その表現を体験し、肌で感じることができます。ゲストティーチャーの井手哲比古さんは、長崎市内で画塾や画廊を開いておられる作家さんです。「IMA」展という、長崎での現代美術の展示会の運営にも携わっておられます。	井手哲比古先生（芸術家）
	30	美術館の表と裏	坂田	⑤⑥	美術館には、たくさんのお品があります。それらは、だれがどのように準備しているのでしょうか。また、数多くの美術品は、どこにどのようにして保管されているのでしょうか。本講座では、美術館の「裏の顔」である、本物の美術品が鑑賞できない「裏の顔」、つまり、知られざる美術館の舞台裏やそこで働く人々とその役割についても学ぶことができる講座です。	米田耕司先生（長崎県美術館館長）
	31	住居学入門	杉	②③	快適な住まいづくりのための平面図を読み取る力を育てていきます。具体的には、教室を題材として空間の概念を学び、実際に自分の家の間取りに活用していきます。	佐々野好雅先生（長崎大学教育学部）

3. 講座の実践(ウィーン音楽)

今回の題材はウィーン・フィルハーモニーオーケストラ「ニューイヤーコンサート」とベートーヴェン作曲「交響曲第九番」の第4楽章「合唱つき」とした。

(1) 題材にした理由

筆者は、これまでウィーン旅行に5回行く機会に恵まれた。その中でも世界的に有名なウィーン・フィルハーモニーオーケストラの演奏の素晴らしさと「ニューイヤーコンサート」の雰囲気や、この演奏会の会場である楽友協会ホール（ムジークフェラインザール）の見事な響きの美しさを教えるため、また、コンツェルトハウスでの本場の第九交響曲を2回聴くことができたので、これらの経験を基に題材を設定した。

(2) 題材の説明

① ウィーン・フィルハーモニーオーケストラについて

このオーケストラは宮廷楽団でオペラの伴奏専門として演奏していたが、ステージで独自の演奏をしたいことと、ベートーヴェンやモーツァルトの輝かしい作品を聴衆に広く聴かせたい思いで創設された。第1回の演奏会は1842年3月28日、復活祭の日曜日で、開演は午後1時30分。指揮者は、歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」を作曲し、31歳で宮廷楽長に就任したオットー・ニコライである。

② ニューイヤーコンサート

この演奏会での曲目はシュトラウス一家（ヨハン・シュトラウス1世、ヨハン・シュトラウスII世、ヨーゼフ・シュトラウス）の作品を主に演奏していること。また、最初の演奏会は1939年12月31日に楽友協会ホールにおいてクレメンス・クラウスの指揮で開催され、1955年から1979年までウィリー・ボスコフスキーの指揮とヴァイオリンで演奏され、その後は、カラヤン、マゼール、ムーティ、メーター、2002年には日本の小澤征爾が指揮をした。

③ 楽友協会ホール

ここは世界最高の演奏家だけが登場するところとして有名で、屈指のコンサートホールである。このホールは、シューボックス（靴箱方、長方形）という形で、幅が19.8m、奥行きが50.64mの細長い形になっており、座席数は1680席である。材質はすべて木材を使用し、譜面台までホール専用の木を使うなど徹底している。ホールの残響時間は満席で2秒間、空席の状態で3秒間である。25年前にニューイヤーコンサートの練習を聴く機会があり、このときに経験した響きは、たいへん素晴らしいものであった。

④ ニューイヤーコンサートにおいて鑑賞させた曲名

(今回、2002年、小沢征爾指揮のDVDを使用)

- ・美しき青きドナウ
- ・ラデツキー行進曲

・喜歌劇「こうもり」序曲 他

この中で、拍子のとり方が独特であるウインナー・ワルツやラデツキー行進曲がアンコールの最後に演奏され、観客は手拍子をする事、コンサート代金が高価であってもなかなかチケットが手に入らないこと等の説明。

喜歌劇「こうもり」のスコアー（オーケストラ総譜）を読む。

DIE FLEDERMAUS

OUVERTURE

Johann Strauss (1825-1899)

Nach dem Autograph revidiert und herausgegeben
von Hans Swarowsky

Allegro vivace

1. Flauti
2. Flauti
1. Oboi
2. Oboi
1. Clarinetti in A
2. Clarinetti in A
1. Fagotti
2. Fagotti
1. Corni in F
2. Corni in F
3. Corni in F
4. Corni in F
1. Tromba in F
2. Tromba in F
1. Tromboni
2. Tromboni
3. Tromboni
5. Tromboni
Timpani in A E
Tamburo
Cassa
Campana in E
1. Violino
2. Violino
Viola
Violoncello • Contrabasso

⑤ ベートーヴェンについて

父親はドイツのボンの宮廷楽団合唱団員、祖父は宮廷楽長だった。

16歳でウィーンに行き、啓蒙主義のヨーゼフⅡ世皇帝に謁見、モーツァルトにも会い、その場で与えられたメロディーの即興演奏をして驚かせた。残念ながら、母親の病気のために帰国。母親は亡くなり、父親はアルコール中毒で仕事が出来ないために、ベートーヴェンがピアノを教え一家を養っていた。ピアノを教えていたプロイニング家の夫人には文学も学んだ。それはシェークスピア・ゲーテ・シラーで、特にシラーの「歓喜の頌歌」には感激し、40年後、彼が最後に作曲した「交響曲第九番（合唱）」の第4楽章に使っている。また、彼は聴力がほとんどない状態で作曲し、初演において指揮したこと等、エピソードが多い。

合唱の部分においてはドイツ語で歌詞を読ませ、一番有名な旋律は歌唱させることで楽曲の理解を深めさせた。

Fl. *ff*

Ob. *ff*

Fg. *ff*

Cor. 1. 2. *ff*

Tr. 1. 2. in D-Re *ff*

Timp. *ff*

S. *f*

A. *f*

T. *f*

B. *f*

VI. I *ff*

VI. II *ff*

Via. *ff*

Vlc. e Cb. *ff*

M 545

Freu-de, schö-ner Göt-ter - fun - ken, Toch-ter aus E - ly - si-
 Praise to Joy, the God de - scend-ed Daugh-ter of E - ly - si-

4. アンケートの結果

(アンケート調査生徒数 117名)

(1) この講座を選んだ理由

	この講座を選んだ理由	2男	2女	3男	3女	計
1	先生の講座を受けたかった	6	4	3	1	14
2	興味・関心があった	12	10	17	19	58
3	音楽が元々好きである	5	8	5	10	28
4	ウィーン・フィルを知りたかった	2	1	3	2	8
5	音楽で癒されたかった	1		3		4
6	友達に誘われた		1	2		3
7	ウィーンの街に興味があった			2		2

(2) 昨年度の説明と今年の説明で変わったところ

1	内容がより専門的だったので興味を持つことが出来た
2	楽譜を見て指揮をしたこと
3	資料が多く、説明が詳しくより丁寧であった

(3) 今回の講座について

	講座についての感想	2男	2女	3男	3女	計
1	よく理解できた	5	13	7	17	42
2	まあまあ理解できた	16	12	22	14	64
3	余り理解できなかった	5		6		11

(4) 今回聴いた曲の中で一番好きな曲を書く

	曲名	2男	2女	3男	3女	計
1	第九交響曲	6	7	3	5	21
2	こうもり	3	5	2	8	18
3	美しき青きドナウ	1		3		4
4	ラデツキー行進曲				1	1
5	悪魔の踊り	1				1

(5) 今後、聴きたいと思う作曲者と曲名を書く

	作曲者	曲名
1	チャイコフスキー	くるみ割り人形
2	ロドリゴ	アランプェス協奏曲
3	ビバルディ	四季
4	ショパン	ノクターン
5	バッハ	主よ人の望みの喜びを
6	ベートーヴェン	交響曲第5番「運命」
7	ブラームス	ハンガリー舞曲
8	ムソルグスキー	展覧会の絵
9	ドボルザーク	交響曲第9番「新世界」
10	ベートーヴェン	交響曲第6番「田園」
11	ベートーヴェン	ピアノソナタ「月光」
12	ショパン	別れの曲
13	ヘンデル	水上の音楽

(6) 好きな演奏形態

	演奏形態	2男	2女	3男	3女	計
1	ピアノ	11	10	8	8	37
2	合唱	5	3	8	4	20
3	歌曲	1	0	3	1	5
4	吹奏楽	4	6	2	7	19
5	管弦楽	2	4	6	6	16
6	歌劇	3	2	2	2	9
7	器楽	0	0	1	1	2

(7) 演奏の経験者数

	演奏形態の種類	2男	2女	3男	3女	計
1	吹奏楽	3	5	0	5	13
2	コーラス	2	8	0	6	16
3	オーケストラ	0	0	0	2	2

(8) 楽器の経験者数

	演奏楽器の種類	2男	2女	3男	3女	計
1	ピアノ	0	2 2	8	2 5	5 5
2	ギター	0	0	2	0	2
3	ヴァイオリン	1	0	0	1	2
4	打楽器	1	0	0	0	1
5	ハープ	0	0	1	0	1

(※吹奏楽部に所属している生徒は除く。)

5. 考察

この講座を通して分かったことは、興味はあるが、あまりクラシック音楽が理解できない生徒と、小さい頃からピアノなどを習い、多少の音楽的な知識や技術がある生徒に、感性の面で大きな差があっても、指導によって高い教育効果をもたらすことができるということである。すべての生徒たちから、講座に積極的に取り組む姿勢と、講義に対しての高い意欲が感じられた。講座としては、かなり難しいことを教えているが、逆にそれは、新鮮味があるようだった。今回、曲を聴くだけでも曲を好きになる生徒もいたが、資料を研究し、分かりやすくエピソード等を含めて説明をすることで、生徒は音楽の素晴らしさを理解できたようだ。

附属中学校の生徒は、ピアノなどの楽器または合唱団経験者が他校に比べてたいへん多いが、オーケストラのスコア（総譜）の読み方に興味・関心を示した生徒が多かったのは、このような生徒の実態によるものだけでなく、充実した講座内容によるものであろう。スコアの読み方には高度な知識が求められることから、「学問探究」としての音楽鑑賞を十分に深めることが出来たと考察する。

追記) 生徒の感想より

コンサートなどの映像をたくさん観て、今まで知らなかった曲などを聴けたので良かったです。ベートーヴェンについて詳しく教えてもらい、交響曲第九番も聴けて、あんなに素晴らしい曲を何年もかけて作れたベートーヴェンはすごいと思いました。今回の講義では、初めて知ることが多くて楽しかったです。ありがとうございました。(2年男子)

私はピアノを長く習っていて、クラシックには興味がありました。今回、4時間という短い時間でしたが、有名な音楽に触れることで、さらにクラシックが好きになりました。私は特に「こうもり」が好きでした。曲が様々に変化していくのが面白かったです。機会があれば、生で聴きたいなと思います。これからも楽しく音楽と触れ合っていきたいです。ドイツ語の第九もいい経験になりました。(3年女子)

平成19年度

長崎大学教育学部附属中学校

音楽科鑑賞教育調査表

資料1：(第1学年)

作曲者名	曲名	演奏形態	学年	男子	女子	合計
ヴィヴァルディ	四季	弦楽合奏	1	4	3	7
ヴィヴァルディ	リコーダー協奏曲	リコーダー・弦楽合奏	1		1	1
ヴェルディ	歌劇「アイーダ」	オペラ		1	1	2
エルガー	威風堂々	管弦楽	1	4		4
ガーシュウィン	ラブソフィー・イン・ブルー	管弦楽	1		4	4
グリーク	ペール・ギュント	管弦楽	1		1	1
ケテルビー	ペルシャの市場	管弦楽	1	1		1
コダーイ	ハーリヤーノシュ	管弦楽	1	1		1
サラサーテ	チゴイネルワイゼン	バイオリン・管弦楽	1	1		1
シューベルト	魔王	ピアノ・バリトン	1	5		5
シューベルト	交響曲第8番「未完成」	管弦楽	1	1		1
シューベルト	アベマリア	ソプラノ・ピアノ	1		1	1
シューマン	トロイメライ	ピアノ	1	1		1
ショパン	軍隊ポロネーズ	ピアノ	1	1		1
ショパン	英雄ポロネーズ	ピアノ	1		5	5
ショパン	革命	ピアノ	1	1	2	3
ショパン	華麗なる大円舞曲	ピアノ	1	2	1	3
ショパン	別れの曲	ピアノ	1	3	2	5
ショパン	雨だれ	ピアノ	1	1		1
ショパン	子犬のワルツ	ピアノ	1		4	4
ショパン	ノクターン変ホ長調	ピアノ	1	1	1	2
ショパン	幻想即興曲	ピアノ	1		1	1
ショパン	ピアノ協奏曲第1番	ピアノ・管弦楽	1		1	1
チャイコフスキー	白鳥の湖	管弦楽	1		2	2
チャイコフスキー	くるみ割り人形	管弦楽	1	1	8	9
チャイコフスキー	眠りの森の美女	管弦楽	1	1		1
チャイコフスキー	1812年	管弦楽	1	1		1
ドビュッシー	二つのアラベスク	ピアノ	1		2	2
ドビュッシー	月の光	ピアノ	1	1		1
ドボルザーク	交響曲第9番「新世界」	管弦楽	1	2	2	4
ドボルザーク	ユーモレスク	ヴァイオリン	1		1	1
バーンスタイン	キャンディード序曲	管弦楽	1		1	1
パダジェフスカヤ	乙女の祈り	ピアノ	1		2	1
バッハ	トッカータとフーガ二短調	オルガン	1	2		2
バッハ	小フーガ短調	オルガン	1	1		1
バッハ	チェロソナタ第1番	チェロ	1	1		1
バッハ	G線上のアリア	弦楽合奏	1		3	3
バッハ	メヌエット	ピアノ	1		1	1
パッフェルベル	カノン	弦楽合奏	1	4	2	6
プッチーニ	トウランドット	オペラ	1		1	1
ブラームス	ハンガリー舞曲第5番	管弦楽	1	1		1
ベートーヴェン	交響曲第3番「英雄」	管弦楽	1		1	1
ベートーヴェン	ピアノソナタ「悲愴」	ピアノ	1		3	3
ベートーヴェン	交響曲第5番「運命」	管弦楽	1	6	1	7
ベートーヴェン	交響曲第6番「田園」	管弦楽	1	4	3	7
ベートーヴェン	交響曲第7番	管弦楽	1	1	5	6
ベートーヴェン	交響曲第9番「合唱」	管弦楽・合唱	1	1		1
ベートーヴェン	ピアノソナタ「熱情」	ピアノ	1	1		1
ベートーヴェン	ピアノソナタ「月光」	ピアノ	1	1	2	3
ベートーヴェン	エリーゼのために	ピアノ	1	4	2	6
ベートーヴェン	ピアノ協奏曲第5番「皇帝」	ピアノ・管弦楽	1		1	1
ヘルマン・ネッケ	クシコス・ポスト	管弦楽	1		2	2
ホルスト	惑星	管弦楽	1	2	2	4
ボロディン	イーゴリ公	管弦楽	1		1	1
メンデルスゾーン	春の歌	ピアノ	1		1	1
メンデルスゾーン	交響曲第3番「スコットランド」	管弦楽	1		1	1
モーツァルト	アイネ・クライネ・ナハトムジーク	弦楽合奏	1	7	4	11
モーツァルト	トルコ行進曲	ピアノ	1	1	2	3
モーツァルト	ピアノと管弦楽のためのロンド	ピアノ・管弦楽	1	1		1
モーツァルト	フルートとハープのための協奏曲	フルート・管弦楽	1		1	1
モーツァルト	ディベルティメント二長調	弦楽合奏	1		1	1
モーツァルト	クラリネット五重奏曲	クラリネット・弦楽四重奏	1	1		1
モーツァルト	クラリネット協奏曲	クラリネット・管弦楽	1		1	1
モーツァルト	交響曲第40番短調	管弦楽	1	1	2	3
モーツァルト	フィガロの結婚「序曲」	管弦楽	1	1	1	2
モーツァルト	歌劇「魔笛」	オペラ	1	1		1
モーリス・ラベル	ボレロ	管弦楽	1	3		3
モーリス・ラベル	夜のガスパール	ピアノ	1	1		1
リスト	ハンガリー狂詩曲第2番	管弦楽	1		1	1
リスト	ラ・カンパネラ	ピアノ	1	1	4	5
リヒャルト・シュトラウス	ティル・オイッシュビーゲルの愉快な悪戯	管弦楽	1		1	1
リムスキー・コルサコフ	シェーラザード	管弦楽	1	1		1
ルロイ・アンダーソン	ワルツィング・キャット	管弦楽	1		1	1
ルロイ・アンダーソン	シンコペテッド・クロック	管弦楽	1		1	1

資料2：(第3学年)

作曲者名	曲名	演奏形態	学年	男子	女子	合計
アルビノーニ	アダージョ	弦楽合奏	3	1		1
ヴィヴァルディー	「四季」より春	弦楽合奏	3	4	4	8
ヴォーン・ウイナムス	グリーンズリーブス	管弦楽	3	1		1
エルガー	威風堂々	管弦楽	3	2		2
ガーシュイン	ラプソディー・インブルー	管弦楽	3		1	1
グリーク	ペールギュント組曲	管弦楽	3		1	1
サラサーテ	ゴイネルクワゼン	ヴァイオリン・管弦楽	3		1	1
シューベルト	子守歌	ピアノ・バリトン	3		1	1
シューベルト	ます	ピアノ・弦楽四重奏	3		1	1
ショパン	別れの曲	ピアノ	3	2	2	4
ショパン	幻想即興曲	ピアノ	3	1	2	3
ショパン	バラード第1番	ピアノ	3	1		1
ショパン	ノクターン第2番	ピアノ	3		1	1
ショパン	ワルツ第14番ホ短調	ピアノ	3		1	1
ショパン	ピアノ協奏曲第2番	ピアノ・管弦楽	3		1	1
ショパン	ノクターン変ホ長調	ピアノ	3	1		1
ショパン	練習曲「革命」	ピアノ	3	2		2
スウェア・リンゼン	管楽器と打楽器のため交響曲	吹奏楽	3	1		1
スウェア・リンゼン	セドナ	吹奏楽	3		1	1
スメタナ	モルダウ	管弦楽	3	2		2
チャイコフスキー	くるみ割り人形	管弦楽	3	5	4	9
チャイコフスキー	眠れる森の美女	管弦楽	3		1	1
チャイコフスキー	序曲「1812年」	管弦楽	3	1		1
チャイコフスキー	交響曲第6番「悲愴」	管弦楽	3	1		1
ドビュシー	アラベスク	ピアノ	3	1		1
ドボルザーク	交響曲第9番「新世界」	管弦楽	3	3	3	6
ドボルザーク	糸杉	弦楽四重奏	3		1	1
バッハ	G線上のアリア	弦楽合奏	3	1		1
バッハ	カンタータ第145番「主よ、人の望みの喜びよ」	合唱・管弦楽	3	1		1
バッハ	小フーガ短調	オルガン	3		1	1
バッハヘルベル	カノン二長調	弦楽合奏	3		4	4
バラキエフ	イスラメイ	ピアノ	3	1		1
ビゼー	歌劇「カルメン」	オペラ	3	1	1	2
ビゼー	組曲「アルルの女」	管弦楽	3	1	1	2
ブッチーニ	歌劇「トゥーランドット」	オペラ	3		1	1
ブラームス	ハンガリー舞曲第5番	管弦楽	3		2	2
ベートーヴェン	交響曲第6番「田園」	管弦楽	3	1	1	2
ベートーヴェン	交響曲第9番「合唱」	管弦楽・合唱・独唱	3	2	2	4
ベートーヴェン	ピアノ協奏曲「皇帝」	ピアノ・管弦楽	3	1	1	2
ベートーヴェン	付随音楽「アテネの廃墟」	管弦楽	3	1		1
ベートーヴェン	「エグモント」序曲	管弦楽	3		1	1
ベートーヴェン	交響曲第5番「運命」	管弦楽	3	3	9	12
ベートーヴェン	月光	ピアノ	3		1	1
ベートーヴェン	交響曲第7番	管弦楽	3	1	2	3
ベートーヴェン	エリーゼのために	ピアノ	3		2	2
ホルスト	「惑星」より木星	管弦楽	3	4		4
マーラー	交響曲第1番「巨人」	管弦楽	3	1		1
ムソルグスキー	・展覧会の絵	管弦楽	3	1	3	4
モーツァルト	アイネ・クライネ・ナハトムジーク	弦楽合奏	3		2	2
モーツァルト	交響曲第41番「ジュピター」	管弦楽	3	1	2	3
モーツァルト	ディベルティメント二長調よりメヌエット	弦楽合奏	3		1	1
モーツァルト	トルコ行進曲	ピアノ	3	2		2
モーツァルト	ピアノソナタ第8番イ短調	ピアノ	3	1		1
モーツァルト	歌劇「フィガロの結婚」	オペラ	3	1	2	3
モーツァルト	歌劇「魔笛」	オペラ	3		2	2
モーツァルト	セレナーデ第13番第2楽章	弦楽合奏	3		1	1
モーツァルト	ヴァイオリンとヴィオラの為の協奏交響曲	管弦楽	3	1		1
モーツァルト	交響曲第40番ト短調	管弦楽	3	4		4
モーツァルト	偽の花つくり女	オペラ	3		1	1
モーツァルト	レクイエム	管弦楽・合唱・独唱	3	1		1
モーツァルト	幻想曲	ピアノ	3		1	1
モーツァルト	オーボエ協奏曲	オーボエ・管弦楽	3		2	2
モーリス・ラベル	水の戯れ	ピアノ	3		1	1
モーリス・ラベル	ボレロ	管弦楽	3	6	5	11
モーリス・ラベル	ピアノ協奏曲	ピアノ・管弦楽	3		1	1
モンティ	チャルダッシュ	ヴァイオリン・ピアノ	3	1		1
ヨハン・シュトラウス	ワルツ「美しき青きドナウ」	管弦楽	3		1	1
ヨハン・シュトラウス	ワルツ「春の声」	管弦楽	3		1	1
ラフマニノフ	ピアノ協奏曲第2番	ピアノ・管弦楽	3	2		2
リスト	ラ・カンパネラ	ピアノ	3	1		1
ルロイ・アンダーソン	シンコペテッドクロック	管弦楽	3	1		1
ロッシーニ	歌劇「セビリアの理髪師」	オペラ	3		1	1
ロドリゴ	アルハンブラ宮殿の思い出	ギター	3		1	1
ワーグナー	夕星の歌	管弦楽	3	1		1